

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド（毎月分配型）インドネシアルピアブル・コース」は、第74期から第79期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」を通じて、主として新興国の米ドル建てハイイールド社債に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。組入外貨建資産については、原則としてインドネシアルピア買い／米ドル売りの為替取引を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

**T&D 通貨トレード
新興国社債ファンド
（毎月分配型）**

インドネシアルピアブル・コース

商品分類（追加型投信／海外／債券）

第14作成期

第74期（2018年10月15日） 第77期（2019年1月15日）
第75期（2018年11月15日） 第78期（2019年2月15日）
第76期（2018年12月17日） 第79期（2019年3月15日）

作成対象期間：2018年9月19日～2019年3月15日

第79期末（2019年3月15日）	
基準価額	8,846円
純資産総額	13百万円
第74期～第79期	
騰落率	10.0%
分配金合計	240円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

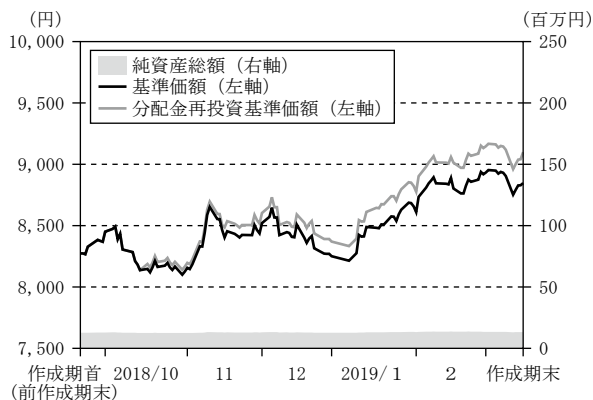
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第74期首：8,273円
 第79期末：8,846円（既払分配金240円）
 騰落率：10.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年9月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

主に外国投信「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」へ投資した結果、保有債券の価格上昇およびインドネシアルピアが対円で上昇したことがプラス寄与したことから、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

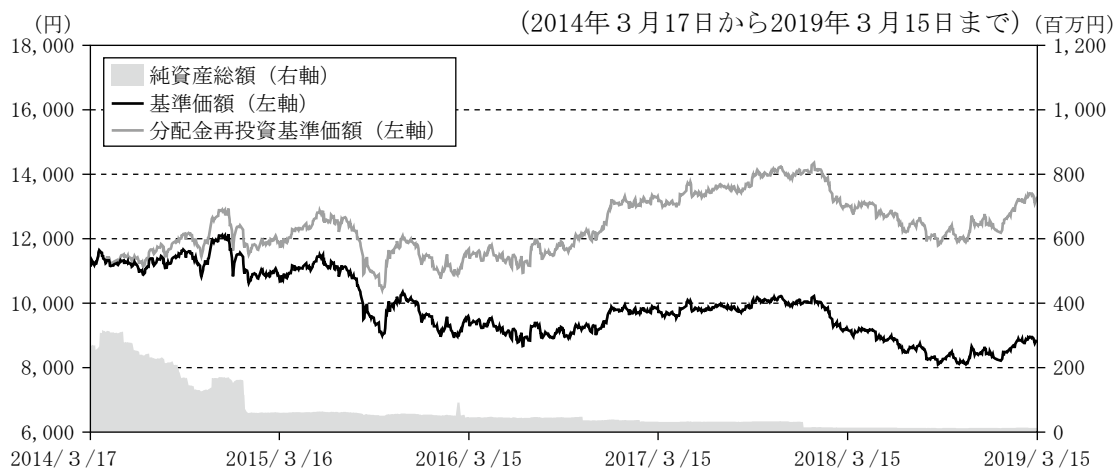
組入ファンド	騰落率
エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス	10.8%
マネーアカウンタマザーファンド	△ 0.0

1万口当たりの費用明細

項目	第74期～第79期		項目の概要
	2018/9/19～2019/3/15		
	金額	比率	
平均基準価額	8,486円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	57円	0.674%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(20)	(0.237)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.421)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.007	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	58	0.681	

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年3月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年3月17日 期初	2015年3月16日 決算日	2016年3月15日 決算日	2017年3月15日 決算日	2018年3月15日 決算日	2019年3月15日 決算日
基準価額（分配前）（円）	11,131	10,800	9,532	9,792	9,174	8,846
期間分配金合計（税込み）（円）	—	1,080	1,080	930	480	480
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	6.8	△ 1.7	13.5	△ 1.6	1.9
純資産総額（百万円）	265	60	46	32	14	13

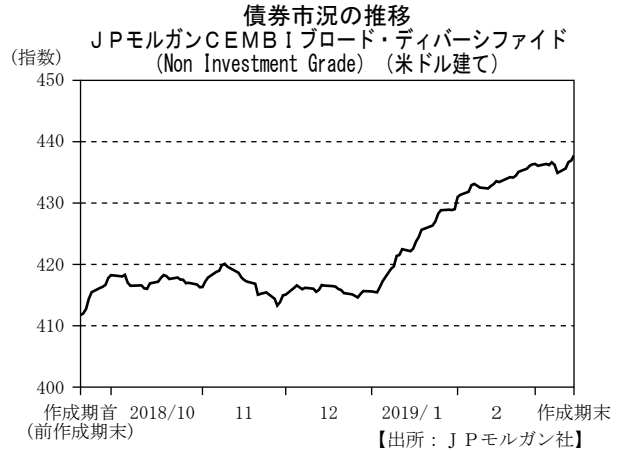
- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ エマージング・ハイイールド社債市場

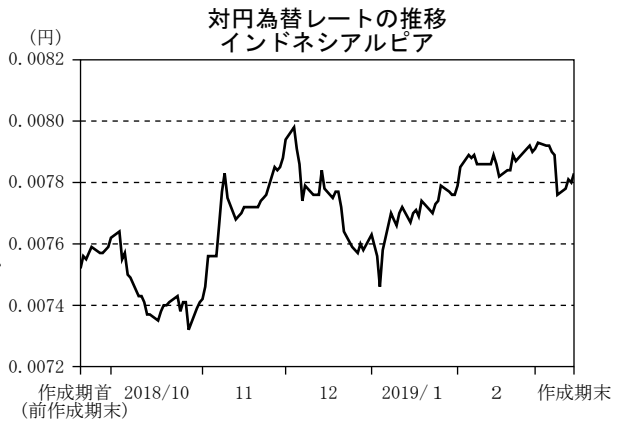
当作成期の米ドル建てエマージング・ハイイールド社債市場（参照指標：J PモルガンCEMBIブロード・ディバースファイド（Non Investment Grade））は上昇しました。作成期初は、トルコ中央銀行が市場の想定を上回る利上げを実施したこと、中国が大半の貿易相手国を対象に輸入関税の引下げを計画しているとの報道を受け、リスク回避的な動きが和らいだことから上昇しました。2018年10月から12月にかけては、ブラジル大統領選挙において改革に意欲的なボルソナロ氏の当選が好感されたことや、トルコで自宅軟禁中であった米国人牧師が釈放され同国に対する懸念が後退したことなどが上昇要因となった一方、メキシコでオブラドール新政権が新空港建設に反対を表明するなど大衆迎合的な政策が嫌気されたこと、原油価格の下落や世界的な景気減速懸念なども材料となり、軟調な推移となりました。2019年1月から作成期末にかけては、米中次官級による貿易協議の開催などを背景に米中通商交渉進展への期待が高まったことや、FRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言やFOMC（米連邦公開市場委員会）の議事要旨で金融引締めに慎重な姿勢が示され米国利上げ観測が後退したことに加え、原油価格が反転上昇したことなどから、大きく上昇しました。

■ 為替動向

インドネシアルピアは対円で上昇しました。作成期初から2018年10月にかけては、弱含むインドネシアルピアを防衛するため中央銀行が9月下旬に利上げを発表しましたが、経常赤字国である同国に対する市場の懸念は拭えずインドネシアルピアは対円で下落しました。11月から12月にかけては、中央銀行が追加利上げを発表したこと、米国金利が低下したこと、原油価格が下落したことなどが好感され、インドネシアルピアは対円で反転上昇しました。その後作成期末にかけては、米中通商協議の開催や各種報道を受けて米中貿易摩擦に対する改善期待が高まったことや、米国の利上げ観測が後退したことから、インドネシアルピアは対円で上昇しました。



（注）当ファンド基準価額への組入投資信託基準価額の反映を考慮して、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



（注）為替レートは、WMロイターが発表するロンドン時間午後4時のレートです。

（注）当ファンド基準価額への組入投資信託基準価額の反映を考慮して、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の△0.13%から作成期末は△0.15%となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」および「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象として運用を行いました。作成期を通じて、「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」を概ね高位に組入れ、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。外国投資信託につきましては、海外休日に伴う設定解約の影響により、2018年12月20日～27日の組入比率が一時的に低下しました。

■ エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス

主としてエマージング・ハイイールド社債市場への投資を通じて、良好な収益の獲得を目指して運用を行いました。主要投資対象ファンドである「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド」の組入状況は次の通りです。現地2月末時点で債券組入比率は93.1%となりました。現地2月末時点のポートフォリオは、国別では、ブラジル、アルゼンチン、オランダの比率が上位となりました。業種別では公益、石油・ガス、通信・メディア・テクノロジーの比率が上位となりました。

■ マネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）はインカム収益を中心に分配を行うことを基本方針として、分配可能額、基準価額等を勘案し、第74期から第79期まで各40円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期
	2018年9月19日 ～2018年10月15日	2018年10月16日 ～2018年11月15日	2018年11月16日 ～2018年12月17日	2018年12月18日 ～2019年1月15日	2019年1月16日 ～2019年2月15日	2019年2月16日 ～2019年3月15日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.489	0.474	0.474	0.469	0.452	0.450
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,102	1,114	1,130	1,152	1,172	1,182

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」および「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

■ エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス

主としてエマージング・ハイイールド社債市場への投資を通じて、良好な収益の獲得を目指して運用を行います。現在は、国別ではインド、中国などを強気の見通しとする一方、トルコ、ロシアなどを弱気の見通しとしています。業種別では、公益、輸送、不動産などを強気の見通しとする一方、金属鉱業、金融などを弱気の見通しとしています。

■ マネーアカウントマザーファンド

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

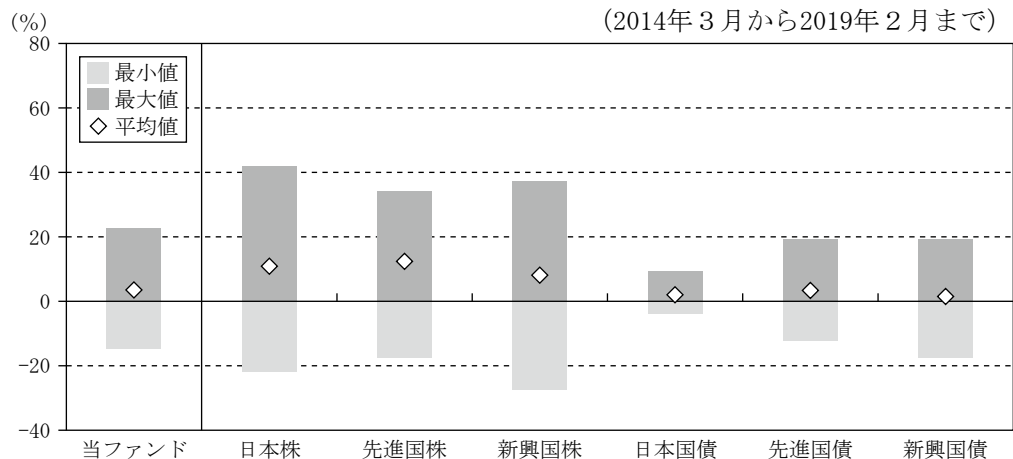
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2012年6月15日から2021年11月15日まで	
運 用 方 針	安定的なインカム収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主 要 運 用 対 象	円建ての外国投資信託である「エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス」および親投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	エ マ ー ジ ン グ マ ー ケ ッ ト ・ ハ イ イ ー ル ド ボ ン ド フ ァ ン ド ク ラ ス I I D R ブ ル ク ラ ス	主として新興国の米ドル建てハイイールド社債に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。外国為替予約取引、為替先物取引等を活用します。
	マ ネ ー ア カ ウ ン ト マ ザ ー フ ァ ン ド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 株式への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月15日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。 ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	3.5	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5
最大値	22.7	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△14.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2014年3月から2019年2月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

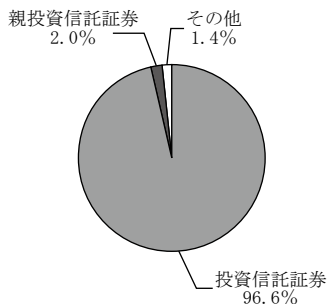
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

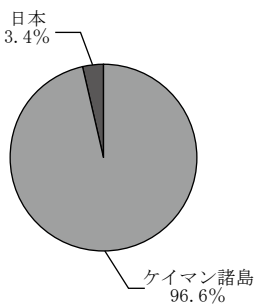
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第79期末
	2019年3月15日
	比率
エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR プル クラス	96.6%
マネーアカウントマザーファンド	2.0
その他	1.4

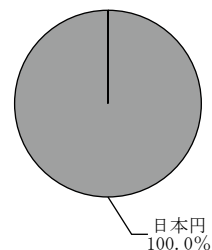
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

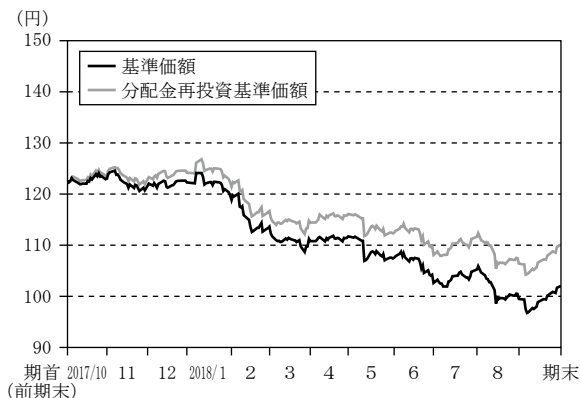
項目	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末
	2018年10月15日	2018年11月15日	2018年12月17日	2019年1月15日	2019年2月15日	2019年3月15日
純資産総額	12,518,124円	12,888,334円	12,906,767円	13,051,747円	13,569,153円	13,258,009円
受益権総口数	15,364,522口	15,336,393口	15,361,581口	15,388,071口	15,414,452口	14,988,412口
1万口当たり基準価額	8,147円	8,404円	8,402円	8,482円	8,803円	8,846円

(注) 当作成期間（第74期～第79期）中における追加設定元本額は259,503円、同解約元本額は586,196円です。

組入上位ファンドの概要

エマージングマーケット・ハイイールドボンドファンド クラス I IDR ブル クラス (2017年10月1日から2018年9月30日まで)

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年9月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はエマージングマーケット・ハイイールドボンドファンドの状況です。

■ 上位10銘柄

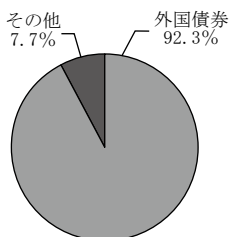
(組入銘柄数：74銘柄)

銘柄名	国	比率
AES El Salvador Trust II 6.75% due 03/28/23	エルサルバドル	2.8%
IHS Netherlands Holdco BV 9.50% due 10/27/21	オランダ	2.4
YPF S.A. 8.75% due 04/04/24	アルゼンチン	2.4
Liquid Telecommunications Financing PLC 8.50% due 07/13/22	イギリス	2.3
Argentine Republic Government International Bond 7.50% due 04/22/26	アルゼンチン	2.2
Cemig Geracao e Transmissao S.A. 9.25% due 12/05/24	ブラジル	2.2
Nostrum Oil & Gas Finance BV 8.00% due 07/25/22	オランダ	2.1
Altice Finco S.A. 8.13% due 01/15/24	ルクセンブルグ	2.0
ABJA Investment Co. Pte. Ltd. 5.95% due 07/31/24	シンガポール	2.0
JSL Europe S.A. 7.75% due 07/26/24	ルクセンブルグ	2.0

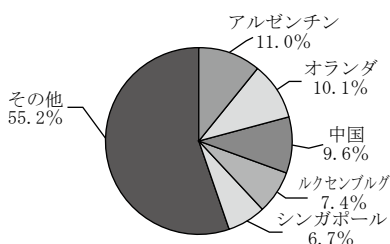
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

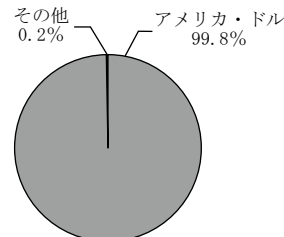
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



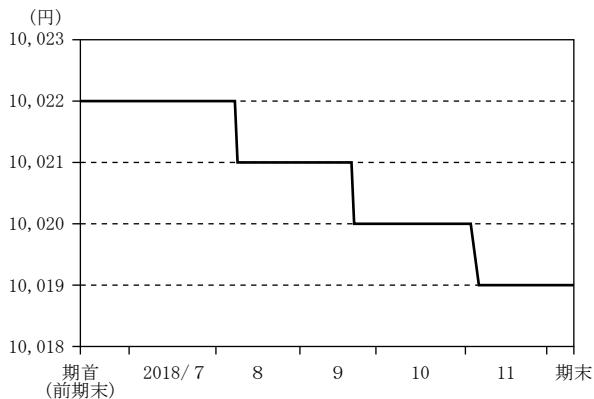
(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 組入銘柄および各配分の比率はJ Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社より入手したデータをもとに作成しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧くださいませ。

■ 基準価額の推移



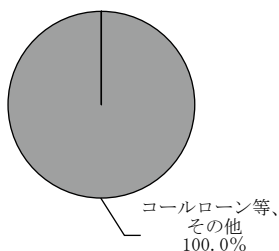
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

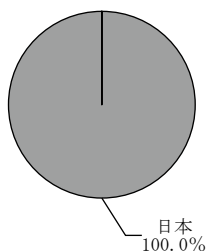
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2018/6/12~2018/12/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,020円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

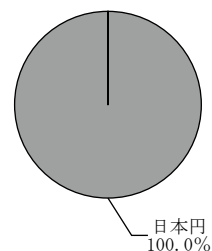
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

指数に関して

○「投資環境」に用いた指数について

J PモルガンCEMB Iブロード・ディバーシファイド (Non Investment Grade)

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJ Pモルガン社に帰属しております。J Pモルガン社は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。J Pモルガン社は指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J PモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

J PモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、J Pモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ Pモルガン社に帰属します。